

## 三浦外洋セーリングクラブ理事会議事録

開催日：2016年4月12日（火）18：30～19：56

場 所：虎ノ門 第一オカモトヤビル4階会議室

出席者：理 事：飯島、大谷、小川、尾山、北村、黒岩、児玉、才藤、庄野、関根、外山、  
丹羽、平松、星野、三輪

監 事：藤田

欠席者：理 事：伊藤、新通、羽柴（以上、アイウエオ順）

尾山会長が議長となり、議事録作成人に庄野理事、同署名人に才藤理事を指名して、下記議案につき審議した。

### 1. 2015年度決算・活動報告並びに2016年度予算案・計画案の件

関根事務局長より3月末時点の会計報告が披露され、当期の一般会計収支差額は252千円の黒字となり、支出の部の主催者保険勘定は当期77千円を計上しているが、次年度は315千円へ大幅に値上がりの見込みであり、共同主催の相手方へ相応の負担を求めることで調整中であることが報告された。また次年度予算については、名誉会員のJSAF登録料が不要になること、新春親善レースのカップ代50千円を計上していること、フリート対抗レース費用はレース委員会勘定に計上しており、詳細を確認して完成次第メールにて回覧に付す旨が補足された。

### 2. 監査報告の件

藤田監事より4月5日に今北監事・藤田監事・尾山会長・今北監事の後任の望月氏立合のもと監査を実施し、適正に処理されていることを確認したことが報告された。

### 3. 捜索救助に保険を活用するワーキンググループ答申の件

庄野理事より昨年5月の総会で諮問のあった捜索救助に保険を活用するワーキンググループの最終答申が披露され、ポイントとして①基金が想定する海難事故を対象とする保険の引受先が皆無であること、②リスクを保険に転嫁することができない事が明白になった為、現行の基金制度を維持していくことが重要であること、③当クラブの基金規約をリーガルチェックしたところ、同規約に従い適切に支出を行えば法的リスクは極めて少ない旨が確認されたこと、④民間の航空機1機・船舶3艇をチャーターしての捜索費用として1日あたり180万円の見通しを得たので、現在の基金残高で充分とはいえないかもしれないが、少なくとも5日分の捜索費用を賄えるとの見通しを得たこと、⑤万一の事故の際の各艇が取るべき手順をまとめ会員に対し告知することが重要であること、⑥今回の答申に併せて、当クラブの危機管理プログラムを用意したこと、が報告された。大谷理事より基金を拠出している当クラブ会員艇の場合は良いが、そうでない艇・非会員艇の事故の際の扱いは非常に難しいので、基金運営委員会にてよく協議・検討して欲しい旨が提案され、議長より本答申を関東四団体へも配布したい旨が説明された。

### 4. 2016年度共同主催レースの件

議長より共同主催レースのうちミドルボート選手権については承認済みであり、トラン

スサガミ・若大将カップ並びにオールドセーラーヨットレースは未達である旨が報告され、才藤理事よりミドルボートについては主催者保険との関連もあり、クルーの参加資格を JSAF 会員ではなく外洋系団体会員にしたい要望がある旨が説明された。 関根事務局長より初島卯月レースに絡み、当クラブへの新規入会者が 4 名あったことと、9 月 24 日にヨコヤマカップの計画あり、叶えば当クラブ主催でお願いしたい旨が報告され、飯島理事よりトウキョウズカップを小網代フィニッシュにするとの情報があるが、実現は難しい印象であることが報告された。

#### 5. JSAF 主催者保険の件

関根事務局長より JSAF が主催者保険の範囲を沿岸 12 マイル以内をカバーするなどの見直しを行った結果、当クラブの昨年参加艇数割合に基づく負担額が大幅に上がり、予算案において 310 千円を計上した旨が報告され、リビエラリゾート社と関東ミドルボートオーナーズクラブからは相応の負担を頂く事につき了承を得られ、1 艇・1 日あたり 700～800 円の負担をしてもらうことを予定しており、特に湘南レースは当クラブ会員ではない艇の参加があるため付保が必要である旨が補足された。

#### 6. 基金会長人事の件

議長より大谷基金会長の後任を選出する必要がある、外山理事に次期基金会長をお願いしたい旨が諮られ、承認された。 尚、被選任者である外山理事も就任を承諾された。

#### 7. みさきヨット無線局の件

議長よりみさきヨット無線局につき三団体での費用負担の合意書を作成し、JSAF にも報告済みであり、JSAF 安全委員会へもお願いを済ませ、VHF 無線の更新手続方法などもホームページへ公開予定であり、暫定措置として 9 月まで現態勢にて運営を行った上で決算を行い、次年度には当クラブの負担が発生するかもしれないが、当クラブの決算とは切り離した別会計になることが報告された。

#### 8. 通常総会の件

関根事務局長より通常総会を 5 月 17 日（火）19 時より第二オカモトヤビルにて開催予定であり、それに先立つ 18 時 30 分より理事会を予定していることが報告された。議長より総会次第につき確認が求められ、基金運営委員として外山理事・黒岩理事を補選すること、報告事項として①庄野理事を JSAF 評議員に再任すること、②搜索救助 WG 答申、③平松理事を JSAF 理事に推薦することを確認し、総会配布資料は 4 月 20 日を目処にメール回覧予定とし、その翌週に会員へ発送予定である旨が確認された。

以上で本日の議事を全て終了し、19 時 56 分閉会した。

以 上

2016年4月 30 日

議事録署名人 才藤滋